

令和7年度 伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟

ソフトボール新人大会
大会要項

～絆～

“頑張ろう！ 日本！！”

～Back Softball～

1. 主催

伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟 伊勢崎市教育委員会 玉村町教育委員会

2. 後援

伊勢崎市ソフトボール協会

3. 会期

令和7年9月20日(土)・21日(日) 9:00～ 予備日 23日(火)

4. 会場

ソフトボール場(A面)・第二グラウンド(B面)
伊勢崎市堤西町93 0270-23-7015
予備日:あずま総合運動公園

5. 大会役員

部長 三木 俊幸(第三中)
副部長 内田 敬久(赤堀中)
委員長 吉井 利彰(あずま中)
副委員長 川島 駿太(赤堀中)
役員 中野 典子(第三中)
関 祐亮・飯山 陽子(第四中)、寺内 愛子・安西 智紀(宮郷中)
大木 秀文(赤堀中)、清水 正洋(あずま中)
須藤 孝彬・津布子あゆみ(境北中)、小川翔史・菅原颯樹(玉村南中)

審判長 福島 徹
審判員 伊勢崎市ソフトボール協会審判員
養護 20日向井陽子(看護師)
21日磯野八重子(看護師)
予備日:23日八巻唯衣(赤堀中)

6. 参加資格

- ①伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟に加盟した学校に在学し、当該学校長の参加許可を得ている生徒であること。
- ②合同チームの参加については、『伊勢崎市佐波郡中学校体育連盟主催大会合同チーム参加規程』による。

7. 監督・引率

参加生徒の監督・引率は、出場校の校長・教員・部活動指導員とする。

8. 参加制限

- ①登録選手は18名(スコアラーを含む)で、主将はユニフォームナンバー10をつける。
- ②ベンチ入りできるのは登録選手、引率責任者1名、監督1名、コーチ1名とする。ただし、監督とコーチは当該校の教職員または部活動指導員とする。監督はユニフォームナンバー30、コーチ、外部コーチは31か32のユニフォームとする。尚、応援に訪れた当該校の管理職のみ、ベンチで応援できる。
- ③監督、コーチ、外部コーチ、引率責任者のうち、同時にベンチに入ることができるのは3名までとする。

9. 試合方法

予選リーグ戦・決勝トーナメント戦方式とする。

10. 参加申込み

①申込責任者：当該出場中学校の校長

②申し込み方法：指定された参加申込用紙に所定事項を記入して、校長が捺印したものをプログラム編成会議で委員長に2部提出すること。

11. 表彰

①優勝チームには優勝杯と賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。

②準優勝チームには準優勝杯と賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。

③第3位の2チームには賞状19枚（学校1枚、選手18枚）を授与する。

④本大会上位3校は県新人大会に出場できる。

12. 試合球

日本ソフトボール協会検定球3号球ゴム製（ケンコー）とし、各校で2球ずつ準備する。

13. 競技規則・競技方法

①競技規則は、2025年日本ソフトボール協会規則に準じて行う。

②出場チームは試合開始予定時刻の15分前には待機し、主将はオーダー用紙4枚を持って審判の指示で攻守を決める。オーダー用紙には全登録メンバーの氏名を記入する。（放送がない場合はふりがなは入らない。）

③試合前のフィールドイングは5分以内とし、登録メンバーのみで行う。

④ベンチは対戦カードの左側に記された学校が一塁側を使用する。

⑤3回終了時15点、4回終了時10点差、5回以降7点差はコールドゲームとする。

⑥上記⑤の点差によるコールドゲーム以外は、5回が終了していても試合を打ち切ることとはしない。ただし、雨天や日没等でサスペンデットとなる場合は、均等回に戻って試合を再開する。その場合、再開時から90分ルールを適用する。（イニング開始時と同じ投球練習を認める）

⑦試合は7イニングまたは90分で行い、90分を超えて新しいイニングに入らない。

同点の場合は次回よりタイブレークを適用する。（決勝は時間制限なし）

⑧同一学校が第1・第2試合を連続で行う場合は第1試合終了30分後に、第2・第3試合を連続で行う場合は試合終了60分後にベンチ入りとする。尚、試合の進行や天候等の状況で、当該校の顧問と役員、審判と協議した上で開始時間を早めたり、会場を変更したりする場合がある。

⑨打者または走者がケガをして、応急処置を目的とした臨時の代走を出場させる場合は、テンポラリーランナーと同様の走者を臨時代走として認める。

⑩応援は品位を汚さぬようにし、相手選手への卑劣なヤジや個人攻撃は禁止する。投手がセットポジションに入った後は静観する。また、相手チームのミスを喜ぶような応援は控える。ベンチ内で使用できるメガホンは1個だけである。

⑪コチャーボックスに立てるのは監督・コーチ・選手とする。（監督・コーチがボックスに経つ場合には必ずベンチにも監督・コーチ・引率責任者がいること）

⑫監督・コーチ・選手はユニフォーム（体操服）を着用し、選手のユニフォームは必ず学校名を表示したマークをつけ、背番号と胸番号をつける。男性の監督とコーチは必ず帽子を着用する。

⑬審判員の判断に基づく判定に対しては、抗議することは許されない。ルール上の疑義については監督に限りこれを問うことができる。

⑭その他、試合運営上問題が生じた場合は、大会役員と審判団の合議で決める。

1 4. その他

- ①選手と顧問教師は各学校の代表である自覚を持つこと。特に選手の服装や髪型、身なりには顧問教師を中心に各学校で責任を持って指導し、大会に参加すること。
- ②大会期間中の不慮の事故（負傷、疾病）は応急処置のみ行うが、それ以後の責任は負わない。
駐車場での交通事故やファールボールなどによる自動車の破損については一切責任を負わない。
- ③ゴミの持ち帰りと喫煙場所については、参加校顧問から保護者に周知徹底する。特に昼食を外部業者に発注する場合は、空き箱等を必ず持ち帰るか、業者に引き取ってもらう確認を各学校でしておく。荷物管理についても置き引き等に十分注意し、各学校で責任を持って管理する。
- ④顧問は7：00に集合し、試合の準備をする。雨天時は6：00に部長、委員長、副委員長が集合し、天候判断をする。
- ⑤選手・顧問・審判・応援者は、自転車・自動車の置き方や鍵に注意し、グラウンド内や周辺、応援スタンド等をごみで汚さないように心掛ける。
- ⑥保護者の応援は、各自校ベンチより外野側で行う。また、ビデオ・写真撮影については、各自校応援席付近にて行う。

1 5. 熱中症防止への対応

- ①気温が高い場合には、水分補給を十分に行い、熱中症等に注意する。同一チームの攻撃が20分以上続くか打者が一巡した場合は、審判や役員の判断で試合を止めて、守備側の選手への配慮を目的とした給水時間をとる。その場合の給水時間は最大3分間とし、給水タイム中の作戦会議は行わない。再開時に投球練習は行わず、審判のプレイで試合再開。また、状況に応じて柔軟な対応を行う場合がある。
- ②WBGTが31℃を超えた場合、中断またはサスペンデッドゲームの措置をとる。
- ③高温によるサスペンデッドゲームとなった場合、すべての状況を引き継いで、試合を再開する。
(雨天時のサスペンデッドゲームとは異なる)

16. 組み合わせ

【1日目】

[予選リーグ]

Aブロック (ソフトボール場)

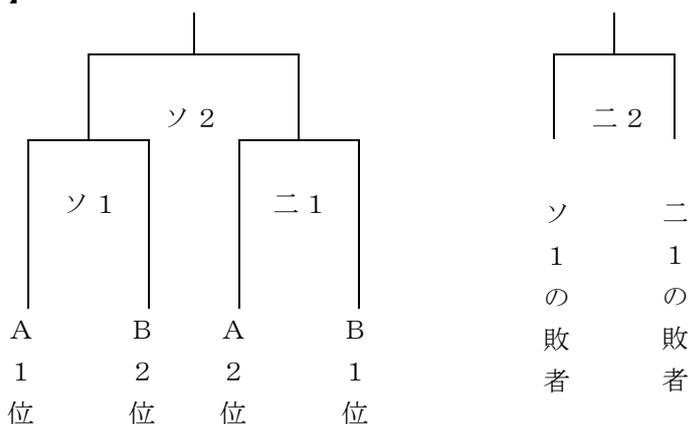
Bブロック (第二グラウンド)

	① 境北中	② 赤堀中	③ 第四中		④あずま中	⑤ 宮郷中	玉南中 ⑥ 第三中
① 境北中				④あずま中			
② 赤堀中				⑤ 宮郷中			
③ 第四中				玉南中 ⑥ 第三中			

第1試合 9 : 0 0 ~ A①vs② B④vs⑤
 第2試合 1 1 : 0 0 ~ A①vs③ B④vs⑥
 第3試合 1 3 : 3 0 ~ A②vs③ B⑤vs⑥

※3チームが1勝1敗の時の順位決定方法
 I 失点率 (総失点×7÷総イニング)
 II 得点率 (総得点×7÷総イニング)
 III 得失点差 (総得点-総失点)
 IV 守備を行ったイニング数
 (Iで決まらない場合はII→III→IV)

【2日目】



第1試合 9 : 0 0 ~
 第2試合 1 1 : 0 0 ~

17. 開・閉会式次第

[開会式] 司会：川島 1日目 8 : 0 0 ~

- (1) 開会の言葉 (川島)
- (2) 優勝・準優勝杯返還 (三木学校長・寺内)
- (3) 大会部長挨拶 (三木学校長)
- (4) 選手宣誓 (境北中主将・金子未来「かねこみく」)
- (5) 競技上の注意 (福島審判長)
- (6) 大会運営上の注意 (吉井)
- (7) 閉会の言葉 (川島)

[閉会式] 司会：川島 決勝戦及び代表決定戦終了後～

- (1) 開会の言葉 (川島)
- (2) 成績発表 (川島)
- (3) 表彰 (三木学校長・寺内)
- (4) 大会部長挨拶 (三木学校長)
- (5) 審判長講評 (福島審判長)
- (6) 閉会の言葉 (川島)